

なんだ・かんだ

◆ 医療の進歩 ◆

先日よく知る知人が、30年来病んでいた病気が完治したと大変喜んで話をしてくれました。医療の進歩はすばらしいものです。

彼は、大学卒業後直ぐに急性肝炎に罹り、数ヶ月入院後結局完治せず慢性肝炎に移行してしまいました。それも大変治癒率が低く発症後30年ほどで肝硬変そして肝癌へと移行する確率が高いC型肝炎でした。

特別な治療をするわけでもなく、20年ほど経った頃、治癒率6~70%位のインターフェロンという薬を注射で打つ当時画期的な治療が開発されこの薬を投与しました。最初劇的にウイルス量が減ってこれは治るかなと期待しましたが、結局はウイルスは完全に無くならず失敗。この時同じ病院で同じ治療をしている知人が二人いて、二人ともこの治療で完治して、彼だけ置き去りになってしまったそうです。

主治医から、GOT・GPTという肝臓の検査の数値は自動車のスピードメータだと思って、出来るだけ値を低く保ち(スピードを緩め)ゴールの肝臓癌になるのを少しでも遅らせるように！これから良い薬が出るから、それまで出来るだけ肝臓を大切に待ちましょう。と励しの言葉？を受けたそうです。

それから数年後、今度は治癒率90%という、飲み薬だけでほとんど副作用のない治療薬が出たのでこれにもトライ！薬を飲んで直ぐにウイルスは未検出となり、これはやったなと思って喜んでいたら、規定の薬を飲み終えた後の最後の検査でウイルスが又検出され、またもやアウト！これには大変落胆したそうです。

すでに、慢性肝炎になり30年が経過しようとしていました。元々肝臓自体は強かった様で、肝臓自体はまだまだ元気でしたが、血小板の値も少しずつ減少していたので、不安で一杯になったそうです。

2回目の治療がダメだったと分かったその日、主治医の先生が、来年の9月にもっと良い薬が出るからそれに期待しましょう。貴方のタイプはこの次の薬が効くかもしれません。と言う言葉でくじけかけていた心を何とか奮い立たせ、次会へ希望をつないだそうです。

そして、昨年の秋から「ハーボニー」という薬の治療を始めました。朝晩2種類の薬を飲むだけですが、絶対に飲み忘れがない様にと最初に注意を受けていたのに、数週間後薬の数を調べるとどうしてもあるべき数よりも1個多い。と言う事はどこかで飲み忘れていたわけですね。次の診察まで不安で一杯でしたが、「1回ぐらい大丈夫だよ」と主治医に言われてホッとしたそうです。この薬の治癒率はほぼ100%のようで、先日薬を飲み終えて最後の検査があり、ウイルスは未検出！主治医から「一応完治だよ。でも半年に1回は検査してね。」と言われ、遂にC型肝炎を克服したのです。長い道のりでしたが、ギリギリセーフでした。

また、別の知人は膀胱癌のステージIVを告知されながら、抗癌剤治療で癌が消滅し遂に一度退職した会社に復職したと言う人もいます。

最近医療の進歩はめざましく、IPS細胞など再生医療も現実のものになってきています。その分医療費が高騰し国の財政を圧迫しているようです。彼の場合も最後の治療は大変薬が高額で高額療養費の対象だったようですが、命には替えられません。

30年前は治療する薬もなく不治の病だったのが、治癒率100%の薬が出来るなんて、医療の進歩はすごいですね！



■ 夏期休暇のお知らせ ■

今年の夏期休暇：8月11日(木)から8月16日(火)まで6日間を夏期休暇とさせていただきます。

今年は、各メーカー様は8月6日から21日の間でお休みとされる会社が多いと思われます。お客様の生産に支障を来さぬように対応していくつもりですが、万一の場合もございますので、直接生産に関わる製品につきましては、生産計画をご確認の上、弊社担当とお話していただきまして、メーカー及び当社の休暇中の製品供給の確認をしていただきたいと思います。

ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

梅雨入り後

7月半ばを過ぎ梅雨明けが宣言されたころから、朝晩めっきり涼しくなり寒いくらいの陽気が続きました。私の寝室は3階で夜寝る時は窓を開け放しているのですが、この寒さでのをやられてしまい、現在少し風邪がきびます。夏風邪は馬鹿が引くとよく言いますが、これは、冬に引いた風邪に気づかず夏になって気がつくほど鈍感だと言う事らしいです。

さて、7月は参院選挙があり、18歳の次男と共に家族4人で期日前投票へ出かけて投票をして参りました。10代での初選挙、誰に、どの党に投票したのか分かりませんが、自分なりに事前に新聞などをチェックして調べていたようです。

時の経つのは早いもので、あんなに小さかった子供が、ヒゲまで生えて一緒に選挙に行くなんて想像もしていませんでした。

いつかはそうなるかと分かっていても、なかなか変化に対する準備ができないまま、その日を迎えてしまいます。仕事上のことでも「アーニッ」と分かっていったのに、「と後悔することが良くあります。将来はしっかりと見据えなければなりません。」

代表取締役 服部 敬一郎

社員ブログ

● 八年経 日本生活 ● 営業部 周凱翔

日本語が全く分からない中国に留学し、気がついたら日本での生活も八年目になっていました。多くの物を見て、都市の賑わいに触れ、美しい自然の風景を味わい、自分の目で耳で心で日本を感じながらの生活はとても充実した時間でした。

私が見た日本の最も印象的だった点は、清掃している人も見かけないのに、路上にゴミ箱もなく通りは清潔な点です。

また、日本の文化についても深く感じました。例えば、日本の無口なコミュニケーションに慣れるのは簡単ではありません。中国人にとって感じたことや、経験を直接表現することは自然で大切です。反対に日本人は遠慮しているし、簡単に気持ちを表しません。私のほんの一言で誤解したり、傷つけたりしてしまうので自分の気持ちを表す時、大変注意していますが、時々中国人の素の態度が出てしまいます。この大きな文化の違いを打開するにはお互いに時間がかかると思います。

社会人になり日本人は世界一の働き者だと思いました。日本人は仕事の為一生働いています。私は仕事が人生の全部ではなく、人生を束縛するものではないと思っています。もちろん、仕事大切なことは否定しません。私たちは生活の為に仕事をしますが、仕事の為に生活するのではないと思っています。これもまた文化の違い、人生観の違いでしょう。

私の日本での経験は、私自身をもっとよい人間に変えて行くだと信じています。また、日本に来たことが正しかったと分かりました。

将来帰国したら、私の体験した日本について、周りの中国人達に伝えるよう努力するつもりです。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/